

学部・学科*

文芸学部・文学科

留学先国名*

台湾

留学先都市*

台北市

留学先大学*

国立台湾大学

留学先所属学部

Department of Foreign Languages and Literatures

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）*

2024年8月～2024年12月

学年（出発時）

3年

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2025 / 01 / 03

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

国立台湾大学（National Taiwan University）は、1928年に創立された台湾を代表する名門大学であり、台湾国内外で高い評価を得ています。台北市中心部に広がる緑豊かなキャンパスを有し、特に「椰子並木道（Royal Palm Boulevard）」が象徴的です。NTUは11の学部、56の学科、100を超える大学院プログラムを擁し、工学、医学、自然科学、社会科学など多岐にわたる分野で強みを発揮しています。また、台湾トップの学術機関として留学生を多数受け入れており、国際的な交流も活発に行われています。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

語学面のサポートとして、国際性向けの中国語の授業が用意されています。この授業は国際生なら誰でも無料で取ることができ、文法を中心に学ぶGeneral Chinese、文法を学びながらスピーキングを中心に学ぶ応用的なEnhancing Chineseのクラスがありました。私は効率良く中国語を上達させたかったので、どちらのコースも取ることにしました。学期が始まる前にレベル分けテストがあり、その結果を見て自分のレベルにあったクラスを先生方が選んでくれます。私のクラスは中級2というクラスでしたが、周りの留学生は中国語を話せる方は多かったです。最初は先生の仰っていることが理解できず、英語で説明してもらって理解することが多く、くじけそうになることもありました。しかし予習や復習、授業に休むことなく出席するといったことを続けていくうちに、聞き取れることが多くなっていきました。学期最後のオーラルテストでは、学期当初は話すことのできなかつた中国語がスラスラでることに驚きました。国立台湾大学の中国語の授業の質はとても高いです。もし中国語を短い期間で伸ばしたいのであれば、両方のクラスを取ることを強くおすすめします。

勉強面でのサポート

勉強面のサポートとして、NTUCOOLが大いに役立ちました。NTUCOOLとはClassroomと同じような機能を持っており、どの課題がいつまでなのかなどを簡単に確認することができました。

精神面でのサポート

精神面のサポートとしては特にありません。

生活・住居面でのサポート

生活・住居面でのサポートとして、寮は学校側より準備していただきました。しかし第一希望であった大学から徒歩5分ほどの水源寮の抽選から落ちてしまい、大学から寮まで一時間程かかる円通寮に住むことになりました。周りの留学生にはこの寮の抽選にさえ落ちてしまい、自分でアパートなどを探す人もいました。必ずしも住む場所が用意されることがないことは一つの懸念点です。台湾で使う回線の開通などは、留学生一人に国立台湾大学の学生がボランティアとして付いてくれるので、その方に手伝っていただきました。このようなサポートがあったため、台湾での生活をスムーズに送ることができました。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

前述のように、私の寮は大学から1時間ほどかかります。また四人部屋で、全員違う国籍を持つ方で構成され、部屋での共通言語は英語でした。やはり4人部屋のため、意志の疎通・コミュニケーションは重要となります。私の部屋では、気づいた人が部屋の掃除、トイレトーパーなどの補充などを行う、電気を使うためのカードは順番に払う、誰かが寝ていたら小さな灯りのみを付けるといったルールがありました。このようなルールが決められていたので快適に過ごすことができましたと思います。また四人部屋なので帰る時間にも気を遣っていました。もし遅くなる場合などは、事前に伝えておくなどといったことをしていました。少しの配慮、気遣いが全員できていたので、4人部屋でも特に不満もなく暮らせたのではないかと思います。

(2) パソコンについて

PCの保有状況

- 日本から持参した
- 現地で購入した
- 保有しなかった

Wi-Fiの有無

- 有
- 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

携帯回線が無制限であったので、インターネット共有をしていました。

大学でのPCの使用可否

- 使用できた
- 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

大学内全て使用可能で、大学のwifiを利用していました、ただし学期開始前に400台湾ドルを払う必要があります。

(3) 医療について

Health Center（大学内施設として）の有無

- 有
- 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

受診したことはありません。しかし留学開始1か月を過ぎた頃に発熱してしまい、日本から持参していた薬で対処しました。日本から常備薬を持ってくることを強くおすすめします。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

していません。台湾は現金で払うことが多かったので、コンビニのATMなどを使用し、日本の口座から台湾ドルを引き出していました。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

文化や習慣の違いについて、地下鉄内やバスでは飲食禁止ということです。もし気づかずに飲食をしてしまうと罰金を取られてしまいます。また寮にはキッチンがなく、全て外食でした。台湾は外食文化が根強いので、食に困ることはありません。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

10月14日に台湾大学の交換留学を考えている学生に対して、留学生が自分の大学を紹介するStudying Abroad Expo Asia nightにゲストスピーカーとして参加しました。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

バイクが非常に多いので、交通安全に注意していました。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

- NTUのホームページ
- NTUCOOL
- My NTU

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

- ・寮で使用するスリッパ
 - ・文房具
 - ・洗濯物を溜めておくことのできる大きな袋
 - ・生理用品
 - ・常備薬
 - ・日本からのお菓子（コミュニケーションのきっかけ）
 - ・延長コード
 - ・小分け袋（ジップロックなど）
 - ・化粧品・スキンケア用品
 - ・消臭・除菌スプレー
-

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

留学したことに得られたこととして、まず第一に語学力が挙げられます。台湾に来たときは聞き取れない中国語の方が多かったり、全く話すことができませんでした。しかし留学が終わる頃には、先生の質問やクラスメイトが言っていることが分かったり、お店の人や地域の方々や軽い世間話をするできるようになっていました。これだけでも留学する価値はあると思います。第二として、自立性が挙げられます。一人で墾丁まで行ったり、寮でのコミュニケーション、旅行計画を立てるなどといった留学でなければ経験することのできないことが多くありました。これらを一つずつ自分で成し遂げていったことは成長に繋がっているのではないかと思います。最後に将来に対する見方が大きく変わったことです。留学中は様々な方に出会い、その方々から色んな話を聞くことができました。そのような経験より、大学院に進学したい、自分の専門性をもっと広げたいと思うようになりました。この4か月間の留学は、私にとってかけがえのないものです。

語学力：

留学前—資格試験名称および点数（級）

HSK4級

留学後—資格試験名称および点数（級）

まだ受験していません。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

金門島に行く際の航空券で、パスポート番号を間違えて登録してしまったことです。その場で差額を払って無事飛行機に乗ることができました。また友人4人で頭城に行った際に、駅に向かうバスを待っていましたがなかなか来ず、タクシーもないといった状態がありました。そんな中、その様子を見ていた地域の方が車を出してくださり。駅まで送っていただきました。地域の方々の優しさに触れた瞬間でした。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

General Chineseは30人ほど、Enhancing Chinese は15人ほどで構成されていました。成績評価については、出席、ライティングテスト、オーラルテスト、プレゼンテーション、課題など様々な項目が設けられていました。私は留学生向けの授業を取っていたので、現地学生の取り組み方はあまり分かりませんが、勤勉な学生が多い印象でした。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

していません。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1NTD=4.7円

(2) 航空運賃

往復7万円

(3) 住居費
住居費 (月額)

一学期間19000NTD

住居費 (留学期間合計)

一学期間19000NTD

(4) 食費 (月額)

3万円ほど

(5) 保険料

5万円ほど

(6) その他

(7) 留学費用の合計

50万円ほど

5. その他 自由に記入してください。

今回の留学は私の学生生活においてかけがえのないものとなりました。留学中に会った友人は一生関わるものの存在になり、得たものは今後の人生において大いに生かすことができると思います。もし留学に行こうか迷っている方がいればその一歩をぜひとも踏み出してください。人によって得るものは異なりますが、必ずかけがえのない財産になると思います。

